

森のコーヒー勉強会

多様性・環境・文化とコーヒー

コーヒーが生まれたエチオピアの森

今、世界中で愛飲されているコーヒーは、エチオピアの森がふるさとです。オロミア州から南部諸民族州にかけて、原種コーヒーノキの自生する森が広がっています。この森や原種コーヒーノキは、私たちと無縁ではありません。「環境」「生物多様性」「文化」をキーワードに、エチオピア、森林、コーヒー、そして私たちが考えてみるべき課題について勉強してみましょう。

第1回：1月12日（日）13:30-16:30（40名） 導入編：わたしたちにとって大切な森の原種コーヒー

エチオピアの森林とそこに自生する原種コーヒーノキ、その森とともに暮らしてきた人々の文化を紹介します。

基調講演：「エチオピアにおける有用植物の多様性と人々の暮らし」 重田眞義（京都大学）

発表1：「森林コーヒーを守る取り組み」 吉倉利英（JICA）

発表2：「コーヒーの森を伝える本」 白鳥くるみ（アフリカ理解プロジェクト）

パネルディスカッション：

重田眞義・吉倉利英・白鳥くるみ

コーヒーセレモニー体験：

森林コーヒーの試飲、

大使館員からコーヒー文化の説明



募集人数40名（申込順）
参加費1,000円当日払
申込みサイト
<http://forms.gle/G13Ah4EokbVd4TSQA>
メール・FAXにて、件名を
「第1回森のコーヒー勉強会」とし、
お名前・職種・メールアドレス・電話番号を
お送りください。
events[at]africa-rikai.net
03-3758-5665



第2回：2月9日（日）14:00-16:30

経済編：コーヒーの流通

コーヒーの流通と気候変動や経済の変化の関係性から、気候変動や生物多様性と私たちの消費の関係を考えてみます。

講師

- ①高橋遼（早稲田大学）
- ②牛尼恭史（アフリカンスクエア）

第3回：3月8日（日）14:00-16:30

環境編：森の多様性と人々の暮らし

地球規模の気候変動や生物多様性の観点から、森やその周辺に暮らす人々の暮らしを守るための方法について考えてみます。

講師

- ①高橋康夫（IGES）
- ②阪口法明（JICA）

第4回：4月19日（日）14:00-16:30

行動編：環境運動とフェアトレード

気候変動、生物多様性、消費について、国際機関やNGOなどの取り組みについて学び、消費者として何が重要かを考えてみます。

講師

- ①池上甲一（近畿大学）
- ②調整中（Ciジャパン、スターバックス）



共催：アフリカ理解プロジェクト

（予定）JICAエチオピア森林 コーヒープロジェクト



協力：駐日エチオピア大使館

第2回～第4回の参加お申込み：開催日のひと月前から広報を開始します。

第2回～第4回の会場：JICA地球ひろば市ヶ谷

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1 0-5

電話：03-3269-2911

<https://www.jica.go.jp/hiroba/>

